

# さとうじゅんこ (歌) 齋藤徹 (コントラバス) コンサート

Junko Satoh (vo) & Tetsu Saitoh (contrabass) Concert at Soba Restrant Kirikiri, Tendo

## うたの喜び、うたの願い

乾千恵さんの詩やギリシャ映画、黒潮文化圏に想を得た齋藤徹オリジナル曲からヨーロッパの古楽、南米の民衆歌、明治・昭和の歌謡曲、ジャワ・沖縄・山形の民謡まで。

あらゆる表現とともに音楽の可能性を探求してきたテツさんが  
ジャワ・ガムラン歌手としても活躍するさとうさんの無垢な歌心と歌唱で  
時代や地域をこえて、私たちの心を躍動させるくうたを奏でます。

ベースの豊かな低音と倍音のひびき、独創的な演奏、しなやかで深い歌の世界、  
心の旅を、蔵座敷の蕎麦屋「吉里吉里」でゆっくりとお楽しみ下さい。(齋藤 朋)

——3月11日以後、すべてが以前と同じではあり得ません。  
特に放射能のことです。ごく簡単に言えば、何があっても  
最後には「自然」や「宇宙」の摂理に身を任せることが出来れば  
いいという、古来から無意識に持ってきた願いが否定され  
てしまった気がするのです。

100万年待っていったいどういうことでしょうか？  
「しょうがないな〜」では済まされなくなりました。

無力感の中で、「うた」への願いが増してきます。  
「うた」は何かを呼ぶ仕草であるという考え方に賛同しま  
す。うたは「祝祭」と「祈り」に支えられて現れます。  
身体と心、生き死にを内包しています。目標や確信をもつ  
ことが難しくなってしまった今、「うた」が遠い記憶や連帯  
の可能性、さらには「生きること」の肯定を教えてくれる  
のではないかと考えています。(齋藤 徹)



### さとうじゅんこ Junko Satoh (歌)

秋田市生まれ。東京藝術大学音楽学部声楽科ソプラノ専攻修了。  
歌手/作曲家。種子田郷と共に project suara を主宰。フランス  
アクスマティック音楽の作曲と演奏に触れ、独自の音響芸術の実  
践に取り組む一方で、ジャワガムランのプシンデン(女声歌手)とし  
て演奏活動を行う。グローバリズムの抱える問題とも向き合いなが  
ら創造力豊かなアートネットワークの構築を目指す。

<http://suara.jp/>

### 齋藤 徹 Tetsu Saitoh (コントラバス、作曲)

舞踊・演劇・美術・映像・詩・書・邦楽・雅楽・能楽・西洋クラシック音  
楽・現代音楽・タンゴ・ジャズ・ヨーロッパ即興・韓国の文化・アジア  
のシャーマニズムなど、様々なジャンルと積極的に交流。ヨーロッ  
パ、アジア、南北アメリカで毎年演奏、CD 制作。コントラバスの国  
際フェスティバルにも数多く参加。ワークショップも多数行う。「オン  
バク・ヒタム」「徹の部屋」「羊の歌」「Orbit」「Bassically Speaking」等  
のシリーズを国内外で継続中。自主レーベル Travessia 主宰

<http://web.mac.com/travessia115>

2011年 7月4日(月) 18:00 開場 19:15 開演

会場：そば「吉里吉里」 Tel 023-655-5670

天童市大字高揃北 137-4

予約(限定先着40名、お店まで) 料金 ¥2,500 (1蕎麦付き)

\*開演前に蕎麦を召し上がって頂くので、早めにお越しください、

\*飲み物等はオーダーできますが、つまみ、飲み物は持込みも自由です。

JR 奥羽本線高揃駅から 1.8km。

R22(旧13号)からの場合。高揃(たかだま)

駅方面から R277 で高揃小の前を通り、  
最初の信号(高揃郵便局)を右。左2つ  
目の交差点を左に曲がって数百mの所、  
左手。近くに、石佛寺がある。

<http://sobakirikiri.blog.shinobi.jp/>